

神戸大学附属 中等教育学校

サピックスからの
合格実績（過去3年）

'20
9名

'21
8名

'22
10名

所在地 / 〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手5-11-1
TEL / 078-811-0232

学校長 / 井上 真理

創立 / 神戸大学の附属校再編に伴い、2009年、既存の2校の附属中学校を統合。中等教育学校として再出発。

URL / www.edu.kobe-u.ac.jp/kuss-top

	1年	2年	3年
男子	62名	61名	60名
女子	59名	64名	60名
クラス数	3組	3組	3組
総生徒数	722名		



（交通アクセス）

阪急神戸線「御影」駅より徒歩15分、バス14分
JR神戸線「住吉」駅よりバス20分

みずからの力で未来を切り開くグローバルキャリア人を育成

前身は1947年に開設された兵庫師範学校附属中学校。その後、時代に合せて改編・改称を重ね、2009年に国立の中高一貫校となりました。最大の目標は「国際的視野を持ち未来を切り拓く真理探究の精神に富んだグローバルキャリア人の育成」。校訓「自治・協同・創造」の下、神戸大学との連携カリキュラムなども多数用意し、幅広い教養を身につけさせています。伝統的に帰国生や留学生も受け入れており、文部科学省によるスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されています。

スクールライフ

●教育内容

母体である神戸大学と教育理念を共有し、「人間性・国際性・探究性・専門性」に優れたグローバルリーダーを育てています。教育においては「見つける力・調べる力・まとめる力・発表する力」の養成を重視。日々の教科学習はもちろん、大学の理事や教員らから大学での学びが紹介される「神戸大学day」、学年横断のゼミを行って研究論文をまとめる「Kobeポート・インテリジェンス・プロジェクト」など、多彩なプログラムで生徒の教養を高めています。また、国立大学の直轄校だけに、先進的な教育研究が使命です。講演や交流で協力を仰ぐ先も、大企業から国際機関、手に職を持つ地元・神戸のマイスターまで、非常に多岐にわたっています。

●部活動

各部とも活発に活動しています。コーラス部は実力派で、全国大会で優秀な成績を収めています。

○文化系 / コーラス、吹奏楽、演劇、家庭科研究、科学研究、ESS、美術、PC

○体育系 / バasketボール、卓球、バレーボール、テニス、陸上競技、サッカー

●行事

兔原祭（文化祭）、体育祭、音楽祭が三大行事です。宿泊研修は3年次に沖縄、4年次にカナダ（約60名選抜）へ。視点を徐々にローカルからグローバルへと移し、5年次のオーストラリアでのホームステイ（変更の可能性あり）を修学旅行としています。

22年の募集要項

※以下は2022年の募集要項です。2023年の要項は学校の発表をお待ちください。

検査日 / 1月18日

募集人員 / 120名（連携適性検査含む）

合格発表 / 1月21日（ホームページ）

入学予定者招集 / 1月22日

選抜方法 / 言語表現（50分・100点）、数理探究（50分・100点）、自然環境または市民社会（各50分・各100点）、学びの報告書（40点）

面接 / なし

検査料 / 5,000円

公開行事・説明会予定

【一般適性検査出願説明会】（神戸大学六甲台講堂）要予約
10月22日（土）

◆新型コロナウイルス感染症の影響で変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

サピックスOB・OGの声

●授業の特徴は、生徒同士が話し合っ、1人ずつ発表する機会が多いことです。夏休みの宿題はほとんどがレポートで、読書感想文は文学作品だけでなく、理科や数学の本について書くものまであります。